

12月は不法投棄防止啓発強化月間

不法投棄とは、「廃棄物をみだりに捨てること」です。廃棄物をみだりに捨てることは廃棄物処理法により禁止されています。

これに違反して廃棄物を捨てた場合は、5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金が科せられ、未遂も罰せられます。また、法人等の従事者などが法人等の業務に関し廃棄物を不法投棄した場合には、法人等に対し3億円以下の罰金が科せられます。

不法投棄は重大な犯罪となるため、適切な処理を行きましょう。



野外焼却（野焼き）は原則禁止です！

野外焼却とは、屋外でごみなどの廃棄物を焼却する行為です。地面に穴を掘っての焼却やドラム缶などで作った簡易な焼却炉も含まれます。



野外焼却は法律で原則禁止されており、違反した場合は罰則があります。

例外としても認められる場合（農業などで発生した草木を焼却するなど）もありますが、煙によって周辺地域の環境に影響を与える場合がありますので配慮しましょう。

簡単！ダンボールコンポスト作り



材料  
ダンボール箱  
ピートモス (15%)  
もみ殻くん炭 (10%)

ダンボール箱に入れる



よくかき混ぜる

作成行程

- ①材料を用意する
  - ・ダンボール箱（みかん箱くらいの大きさ）
  - ・ピートモス（15%）
  - ・もみ殻くん炭（10%）（3：2の割合）
- ②ダンボール箱に入れよく混ぜ合わせる
- ③虫よけキャップなどをかぶせ、温度が高く、風通しの良い場所に置く（箱の下にすのこを敷くなど通気性を確保してください）

虫よけキャップなどでフタをして完成



ポイント 温度が高く、風通しの良い場所に置きましょう

生ごみをダンボールコンポストの中に入れる



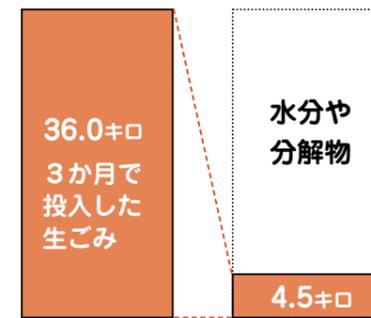
約3カ月後…  
生ごみがたい肥に！



ダンボールコンポストって何？  
ダンボール箱を使って生ごみをたい肥にする方法です。ダンボール箱に土壌改良剤を入れるだけで、生ごみ処理容器になります。材料はホームセンターや園芸店等で安価に購入ができるため、家庭で気軽に、生ごみのリサイクルに取り組むことができます。

- ダンボールコンポストのメリットは？
- 生ごみを減量し、できたたい肥は畑や家庭菜園で活用できる
  - 電気を使わない
  - 安価にできる（1,000円程度）
  - 臭いがほとんどしない など

36キロの生ごみが  
3か月で4.5キロに！



ごみの減量は一人ひとりの取り組みから

ダンボールコンポスト 市民モニター インタビュー

昨年6月から、市民モニターとしてダンボールコンポストに取り組んでいただいている熊谷さんにお話をお伺いしました。



ダンボールコンポスト 市民モニター  
熊谷 美末さん

ダンボールコンポストは、生ごみがたい肥になると知り、目からうろこが落ちました。実際に始めてみると、今まで週に2回出していた燃やせるごみが、2〜3週間に1回と減り、大変助かっています。また、朝に入れた生ごみが夕方には減っているのが楽しくてダンボールの中を見ているのが日課になりました。心配していた臭いや虫も、風通しや直射日光を避けるなど工夫をしているので、ほとんどありません。できたたい肥は、花のサークル活動で活用し役立っています。

皆さんにもこの素晴らしい取り組みをもっと知ってもらい実践してほしいと思います。

挑戦！

生ごみを  
入れてみよう！

- ① 1日に500g〜800g程度（三角コーナー2杯分程）の生ごみを入れます。
  - ② 全体を良くかき混ぜ、空気を取り込むようにしてください。  
※2週間ほどで温度が上昇します。それまで根気よく生ごみを投入してかき混ぜておくことが大切です。
  - ③ 防臭・防虫・保温のために必ずフタをしておきましょう。  
※その後は、①から③を繰り返します。
- 約3か月後…  
全体が黒っぽくなり、かたまりが多くべたつきだし、分解が遅く感じたら生ごみの投入をやめます。3週間から1か月間、熟成をさせるとたい肥として活用できます。



市では、毎年ダンボールコンポスト講習会を行っています。広報つるがや行政チャンネルでお知らせしますので、ぜひご参加ください。詳しいマニュアルは市のホームページからダウンロードできます。その他、疑問や不明な点がありましたら、環境・廃棄物対策課までお問い合わせください。

問合せ先 環境・廃棄物対策課 ☎22-8185